



アジア・国際経営戦略学会 (AIBS)

「AIBS アジアエグゼクティブセミナー」

ヤンゴンセミナー — ミャンマー市場の現状を知る —

開催日: 2018年12月1日(土)

時間: 15:00~20:00

会場: NOVOTEL Yangon Max、BAGAN Room(459 Pyay Pyay Road Kamayut Tsp, Ynagon, Myanmar, TEL :95-1-2305858)

参加費: 20000円

【プログラム】

15:00~15:10 ご挨拶

池島 政広氏 (AIBS 学会会長、亜細亜大学名誉教授、アジアコンテンツビジネス研究会会長、経済産業省産業構造審議会新成長政策部会経営・知的資産小委員会委員長)

15:10~15:50 特別講演

「ミャンマーのビジネス・投資環境」

【講演者】草苅貴氏 (JETRO ヤンゴン事務所 投資アドバイザー) 総合商社に 30 年、その後メーカー、会計監査事務所に勤務。海外駐在はタイに延べ 16 年、サウジアラビアに 3 年を経験。自動車・二輪車及び関連部品の海外市場開拓、海外生産・販売会社設立、経営管理に携わる。現地工場運営・労務管理も直接行うと共に、現地に新たに進出する日本の企業、既に事業を始めている日系企業の投資・会計・税務・経営相談にも関与する。

15:50~16:30 特別講演

「丸紅のミャンマー事業展開」

【講演者】根岸邦夫氏 (丸紅株式会社ヤンゴン支店長、ミャンマー日本商工会議所会頭)

1989 年、丸紅入社、産業プラント部配属。1995 年インドネシアセメントプロジェクト工事事務所(南カリマンタン)。99 年産業プラント部。2005 年資源・エネルギープラント第二部中近東チーム担当課長。06 年同部欧阿・中近東チーム長。08 年エネルギー・化学プラント部中近東 CIS 課長。09 年エネルギー・化学プラント部長付。10 年アスタナ出張所・アルマトイ出張所長(カザフスタン・アスタナ)。2013 年エネルギー・化学プラント部長代理。16 年エネルギーインフラプロジェクト部副部長。17 年プラント・プロジェクト部長。18 年より現職。

16:40~17:20 特別講演

「ANAのミャンマー事業展開と留意点」

【講演者】鈴木康之氏 (全日本空輸株式会社ヤンゴン支店長) ANA 在職 29 年の内、マーケティング・セールス部門や、パイロット・キャビンアテンダント人事労務、空港旅客部門などを経験。現職では 2018 年度上期、ヤンゴン→成田直行便の定刻出発率を ANA 世界全空港 1 位を実現し、ミャンマーサッカー代表チームのオフィシャルエアラインスポンサーとして ANA で初めて海外代表チームのユニフォームロゴ出し広告を行うなど、積極的にモチベーションを重視する事業を展開。

17:30~17:40 閉会の辞

後藤康浩氏 (AIBS 学会理事、亜細亜大学都市創造学部教授、元日本経済新聞社)

18:00~20:00 懇親会(事前登録必要)

【参加申し込み方法】学会事務局宛電子メール(aibs@saibs.org)にて、セミナー・懇親会・工場見学の参加有無を、11月16日までに、お知らせください。(ご氏名、ご所属明記)

なお、参加費 20,000 円を、以下のいずれかの口座(日中平和観光社口座、担当:今井 imai@nicchu.co.jp)に、11月16日までに、お振り込みください。

三井住友銀行 丸ノ内支店 当座 6550815 ニッチェウヘイワカンコウカ
三菱東京UFJ銀行 東京営業部 当座 0079584 ニッチェウヘイワカンコウカ

日本の約 1.8 倍の国土、人口 5148 万人を擁し
名目 GDP 665 億ドルの国

ミャンマー

10 年前の 2009 年には

ミャンマー日本商工会議所に入会する企業数は
僅か 51 社にすぎなかった国に

2018 年 9 月末現在

384 社が入会している

日本との貿易では

2013 年以来日本からの輸出超過であったものが

2017 年にはミャンマーからの輸出が

日本からのそれを上回り

2013 年の 1.4 倍である 10.7 億ドルに達した

1 人当たり GDP は 1269 ドルと

ベトナムの 6 割弱であり

豊富で安価な労働資源を抱えている

現状では衣類などの軽工業中心の産業構造であるが

豊富な天然資源と良質な労働資源を背景に

今後の飛躍が期待されている

そこで本年度 4 か所目の AIBS 学会セミナーでは

ミャンマー最大の都市であるヤンゴンを初めて訪れ

ミャンマー市場の現状把握と今後の展望を論議したい

最初にお迎えする講師の方は

総合商社での 30 年のご経験を背景に

日本企業のミャンマー進出を支援されている

JETRO ヤンゴン事務所投資アドバイザーの草刈貴様

ミャンマーの投資環境をご解説いただく

お二人目は

丸紅ヤンゴン支店長として同社のミャンマー事業展開を

最前線で指揮されている根岸邦夫様をお迎えする

根岸様はまた、ミャンマー日本商工会議所会頭として

日本とミャンマーの商工業・経済関係強化に

多大な貢献をされておられます

そして最後にお迎えするのは

日系航空会社として唯一

ミャンマー直行便を運航する ANA のヤンゴン支店長

鈴木康之様

直行便を運航することで認識された

ミャンマー市場の魅力を語っていただきます

当地での最初のセミナーが

今後の ASEAN ビジネスを考える契機となることを

大いに期待しております

【同時企画】見学会

セミナーに先立つ月日に、11月30日(金)に、ヤンゴンから 25Km ほどのティラワ経済特別区を訪問します。当日スケジュールは以下のとおりです。

07:30、NOVOTEL Yangon Max ホテルロビー集合

09:15、ティラワ経済特別区 (SEZ) 管理棟到着

09:30、スズキ・ミャンマー・モーター (国内市場向自動車製造)

11:00、ミャンマー・ジャパン・ティラワ・デベロップメント (ティラワ SEZ の説明)

13:30、FOSTER 電機 (ティラワ) (輸出入車載スピーカー製造)

15:00、両備ホールディングス (冷蔵冷凍倉庫完備の物流施設)

16:00、終了・解散 (18:00 ホテル到着予定)

アジア・国際経営戦略学会

会長 池島政広

元亜細亜大学学長

前亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科委員長

【学会費ご案内】

個人会員 (正会員/準会員とも) 1 万円 (お一人様)

団体会員 (正会員/準会員とも) 5 万円 (お一口)

学生会員 3 千円 (お一人様)

アジア・国際経営戦略学会入会のご案内

【学会の目的】

アジア・国際経営戦略学会は、アジア諸国での企業の国際的な戦略行動に関心を有する、わが国およびアジア各国の研究者、実務家、学生、企業などの団体に対して、アジア・国際経営戦略の諸問題について総合的な研究を促進・啓蒙・普及・教育する事業を行い、アジア・国際ビジネスの発展と公益の増進に寄与することを目的とします。

【事業】

アジア・国際経営戦略学会は、学会の目的を達成するため、次の事業を行います。

- 研究発表会の開催および研究助成等による、アジア・国際経営戦略に関わる学術調査・研究事業
- 講演会・セミナーの開催等によるアジア・国際経営戦略に関わる啓蒙・普及・教育事業
- 研究成果を公表するための雑誌発行とそれに関わる編集事業
- その他、この団体の目的達成に必要な事業

【会員種別】

- (1) 個人正会員 本学会の目的に賛同して入会した個人
- (2) 団体正会員 本学会の目的に賛同して入会した団体
- (3) 個人準会員 本学会の目的に賛同し賛助するため入会した個人
- (4) 団体準会員 本学会の目的に賛同し賛助するため入会した団体
- (5) 学生会員 アジア・国際経営戦略を学ぶ高等教育機関在籍学生個人
- (6) 名誉会員 本学会の目的に賛同し、本学会が推薦する個人

【入会資格】

会員の入会については、特に条件を定めていません。アジア諸国での企業の国際的な戦略行動に関心を有する、わが国およびアジア各国の研究者、実務家、学生、企業などの団体であれば、どなたでも参加できます。

【入会手続き】

電子メールにて学会事務局宛 (aibs@saibs.org) に、学会入会申し込みであることを明記し、ご氏名、ご所属、郵便番号、住所をご連絡ください。ご連絡後、郵便振替口座番号 (00120-5-373167、アジア・国際経営戦略学会) または、ゆうちょ銀行 (金融機関コード 9900) 〇一九店 (ゼロイチキユウ店、店番 019) 当座預金口座 (口座番号 0373167、アジア コクサイケイエイセンリヤクカ ツカイ) まで所定の会費をお振込みください。手続き完了後、学会定款などをメールにて送信いたします。

【会費】

個人会員 (正会員/準会員とも)	1 万円 (お一人様)
団体会員 (正会員/準会員とも)	5 万円 (お一口)
学生会員	3 千円 (お一人様)

【研究部会】

- アジアビジネス研究部会：アジア・中国での日本企業の戦略行動を深く研究し、直面する課題への対応や新たなビジネスモデルの探索を目的とする
- アジア生産性人材開発研究部会：アジア・中国地域における環境・資源エネルギー・食糧問題などのマクロな動向を展望し、同地域で事業展開する企業における、生産性の向上とそれを支える人材の育成に関する実践方策の探索を目的とする
- ABC/ABM研究部会：企業の長期に渡る維持と発展の基盤となる財務構造を分析し、そのための経営政策を検討する戦略会計領域での重要な分析手法となるABC/ABM (活動基準原価計算/活動基準管理) を用い、アジア・中国地域に展開する日系企業の財務構造を分析する。
- コンテンツビジネス研究部会：成長が期待されるコンテンツビジネスの戦略を分析する。この分野の発展には、アジアとの共生、とりわけ日中で連携して中国・世界市場を睨んだコンテンツの開発が必要となる。このビジネスの展開を知的財産、ファイナンス、マーケティング等の側面から検討する。